

小樽地区 教育経営研究会

- 1 目的 学校経営に関わる諸課題並びに法制上の諸問題を解明し、校長としての職能向上を図り、学校経営の円滑な推進に資する。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会 小樽市校長会
- 3 後援 北海道教育庁後志教育局 小樽市教育委員会
- 4 主管 小樽市校長会
- 5 日時 令和元年8月6日(火) 13:00～15:00
- 6 会場 ジブラルタ生命ビル3階会議室(小樽市色内3丁目2-1)
- 7 参加者 小樽市立小中学校長他(32名)
- 8 日程 13:00～13:20 開会式
13:20～13:50 経営研究会Ⅰ(一般情勢説明)
14:00～14:55 経営研究会Ⅱ(質問・要望事項の回答と協議)
14:55～15:00 閉会式

9 経営研究会Ⅰ

(1) 一般情勢説明 (北海道中学校長会 会計理事 法本 明洋 氏)

①北海道小学校長会、中学校長会の活動や役割、組織について

- ア 小中合同事務局研修会、合同学習会について
- イ 文教施策懇談会、各課懇談会について
- ウ 地区別経営研究会について

②一般情勢について

- ア 働き方改革について
- イ 新学習指導要領及び移行措置について
- ウ 教育再生会議の提言について

10 経営研究会Ⅱ

- (1) 質問要望事項への回答 (北海道小学校長会 情報部幹事 谷本 慎司 氏)
(北海道中学校長会 経営部副部長 三浦 崇史 氏)

質問事項

- ① コミュニティスクールの実態 (課題・成果) 導入に向けた取組の具体
 - ・北海道の27.5%であり、本道では前年比44校が新規にCSとなった。99市町村は自治体のすべての小中学校がCSとなっている。CS化では地域と学校が「どんな学校・地域にするか」というビジョンの共有が大切である。既存の組織を活用し、地域に学校の応援団になってもらうことが必要である。
- ② 教科担任制度の導入について、今後の動向
 - ・教科担任制は311校/835校で導入されている。家庭科等の実技教科の指導を中学校の教諭に教えてもらうなどの取組がなされている。
- ③ プログラミング教育の取組について進捗状況や導入の具体
 - ・進捗状況については、3割が導入、5割が校内研修で研修を実施、年間指導計画に位置付けている学校は1割となっている。
- ④ 新学習指導要領の改訂に伴う具体的な評価のあり方、指導要録、通知表の形式変更等について、その取組状況
 - ・具体の情報はない。
- ⑤ 退職年齢の引き上げについて
 - ・人事院のWeb page等では段階的に退職年齢は65歳まで引き上げるとの方向性が示されているものの、現時点での具体的な回答はない。
- ⑥ 教員のなり手不足について、育成、採用試験、免許更新制度の改善等の方策
 - ・教員養成系大学の再編等が進んでいる。また、教職員の働き方改革を進めるとともに、教員の質と適切な人数の確保にむけて、今後も申し入れをしていきたい。
- ⑦ 部活動のありかたの抜本的改革の見通しについて
 - ・単一校や地域だけで解決できるわけではないので、今後も道教委等に対して働きかけをしていく。

- 11 閉会式 小樽市中学校長会 副会長 名取俊晴 氏より、謝辞ならびに主催者を代表しての挨拶で閉会